

目標：110 wpm（218語を115秒）。共通テストのリーディングは、これくらいの速さで読めると時間内に回せます。

やり方（タイムを測って読む） ①スタートと同時に本文を読む ②読み終わったら黒板・スマホ等の時計で秒数をメモ ③本文を見ずに設問へ ④答え合わせのあと**同じ文章をもう一度読んで**タイムを縮める（2回目が本番）

Take the eraser out of your pencil case. It may be the most familiar tool you own, and one of the least understood. Why does rubbing a soft block of rubber make letters disappear?

The secret starts with the pencil. The dark line is graphite. When you write, tiny bits of graphite catch on the fibers of the paper. The letters are not inside the paper; they are sitting on its surface.

Rubber holds graphite more strongly than paper does. As the eraser moves across the line, the bits of graphite leave the paper and stick to the rubber. At the same time, the surface of the eraser wears away and rolls off the page. Those gray crumbs on your desk are tiny pieces of eraser wrapped around your writing.

This also explains why the same eraser cannot remove ballpoint ink. Ink does not sit on the surface. It sinks into the fibers of the paper, so there is nothing for the rubber to pull away.

Erasers are younger than you may think. For a long time, people rubbed out pencil marks with a piece of soft bread. Around 1770, it was found that rubber did the job far better, and in English the new tool was named after the action itself: it was the thing that rubs.

(218 words) [語注] graphite＝黒鉛（えんぴつのしんの材料） fibers＝繊維 crumbs＝かけら・くず

設問

本文を見ないで答えよう。

思考・判断・表現

(1)	この文章は主に何についての話？ ア. 消しゴムで字が消えるしくみ イ. 鉛筆のしんの材料と作り方 ウ. ボールペンのインクの改良の歴史 エ. 紙の繊維を研究する方法	1点 ()
(2)	鉛筆で書いた字について、本文が言っていることは？ ア. 黒鉛が紙の繊維のおくまで染みこんでいる イ. インクと同じように、かわいて固まっている ウ. 時間がたつと、自然にうすくなって消える エ. 黒鉛の小さな粒が、紙の表面に載っている	1点 ()
(3)	消しゴムが広まる前について、本文の内容に合うものは？ ア. 鉛筆の字を消す方法は、まだ何もなかった イ. やわらかいパンで、鉛筆の字を消していた ウ. 水にぬらした布で、鉛筆の字をふき取っていた エ. ナイフで紙の表面をうすく削り取っていた	1点 ()

1回目 () 秒 → WPM＝218×60÷秒数＝
()

2回目 () 秒 → WPM＝() クリア条件: 3問正解 + 110wpm

速読ラダー 03 消しゴムはなぜ消せる？ | 解答と速く読むコツ

実力を伸ばすクラス 偏差値のめやす 50～60程度 主な学年のめやす: 高2

解答

(1)	ア	全体の主題。第1段落の問い Why does rubbing ... make letters disappear? に第3段落が答えている。
(2)	エ	第2段落 The letters are not inside the paper; they are sitting on its surface。アはボールペンのインクの説明（第4段落）。
(3)	イ	第5段落 people rubbed out pencil marks with a piece of soft bread。

3つの版の使い分け

同じ話題を、語数と目標スピードだけ変えた3つの版です（基礎=約130語・80wpm／標準=約160～220語・110～120wpm／発展=約170～225語・150wpm。発展版は設問も英語）。発展版で語数より速さを上げているのは、共通テストのリーディングが「長い1本」ではなく「短い文章を次々に」処理する形だからです。読解の3版とは軸が違います—速読は「支援の量」ではなく「どれだけの量をどれだけの速さで」を変えます。クラスの帯に合わせて1つ選び、その版のまま連番を重ねてください。版をまたぐとWPMの記録が並ばなくなります。

速く読むコツ

- ・第1段落の問い（Why ...?）を頭に置いて読むと、答えの段落が主題だと分かる。説明文は「問い→答え」の骨組みをつかむのが最短。
- ・This also explains why ... のような文は、同じしくみを別の例で確かめる合図。新しい話ではないと分かれば速く流せる。
- ・こまかい描写（消しくずの色など）は、設問で聞かれたら戻ればよい。1回目は骨組みだけを追う。

記録 帯活動・自習で使うとき（同じ番号を日を空けて再挑戦してよい）

日付	教材番号	1回目WPM	2回目WPM	正解数

